# 社会転換を促す土壌づくり

環境科学会創立35周年記念公開シンポジウム
「サステナビリティ×社会転換」

東邦大学理学部生命圏環境科学科
竹内　彩乃
ayano.takeuchi@sci.toho-u.ac.jp

# 自己紹介

名前　竹内　彩乃　　専門　社会工学
所属　東邦大学理学部生命圏環境科学科　講師
　　自然エネルギー大学リーグ幹事・事務局

最近の研究テーマ
- 洋上風力発電事業に関わる社会的受容
- 環境人材育成の手法開発
- 無作為抽出型市民会議に参加した市民の行動変容

これまでの所属
2012.09-2013.02　Oekozentrum NRW（ドイツ・環境コンサル）
2013.03-2015.07　PN Power Plants AG（ドイツ・再エネ企業）
2015.08-2016.03　名古屋大学大学院環境学専攻

# 社会転換と市民参加

## 社会・暮らしの転換を目指すためには？(IGES,2021)

1. 社会・暮らしの大きな変革を捉えて考える必要がある
2. 社会・暮らしを変革するドライバーは気候変動対策だけではない
3. 多様な変化が想定されるシナリオ作成にあたり幅広い社会構成員の視点も重要となる

## 合意形成とは？

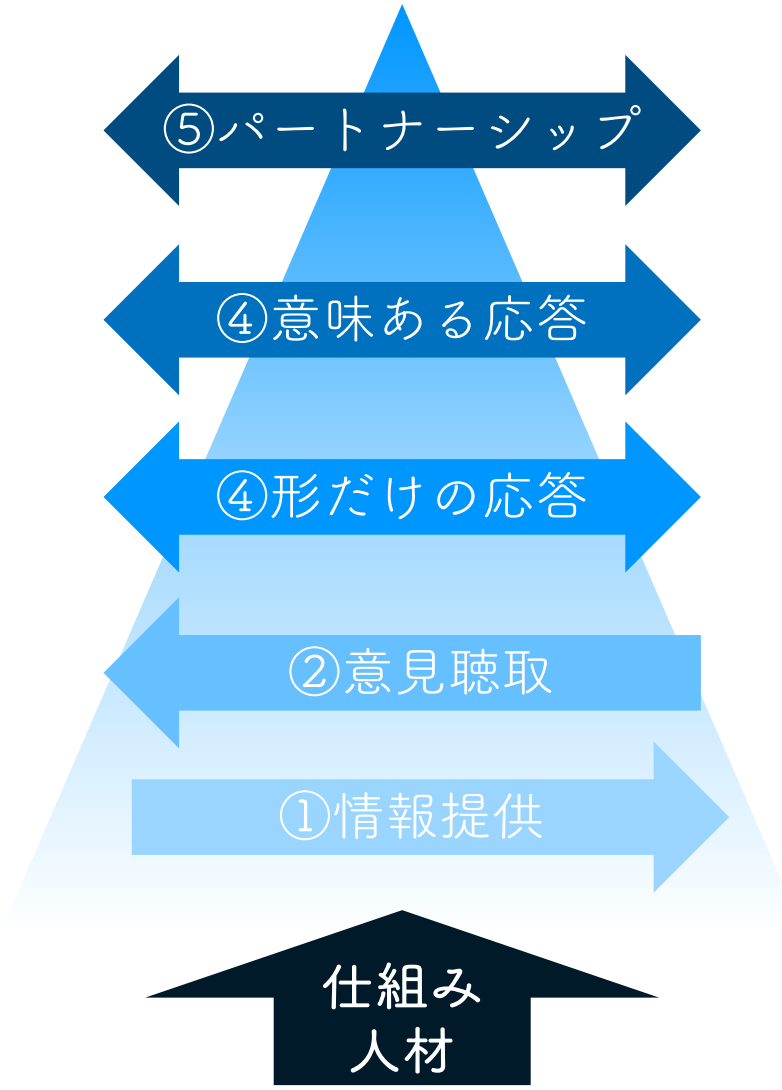
持続可能な社会づくりにおいて、議論を通じて、多様な価値観を顕在化させた上で、それらを調整し意思決定を行なっていく過程のこと。

**社会転換を促す上で「参加」が不可欠**

# 参加の５段階 原科（2005）

## 意思決定者

※政策、計画段階では国、自治体
※事業段階では事業者のこともある

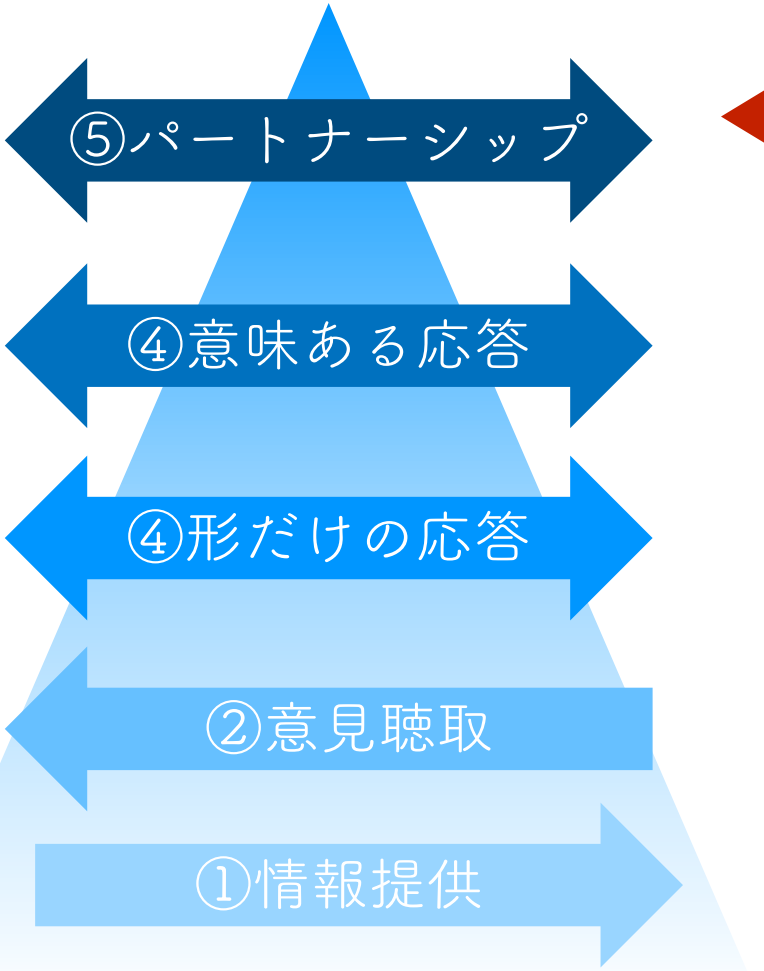


## 市民
## ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰ

※段階が上がるにつれ、
市民・ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰの責任は
増えていく

市民に社会的課題に関心を
持ってもらうためには？

# 社会転換を促す土壌づくりとは？




いかにパートナーシップにつなげていくか？

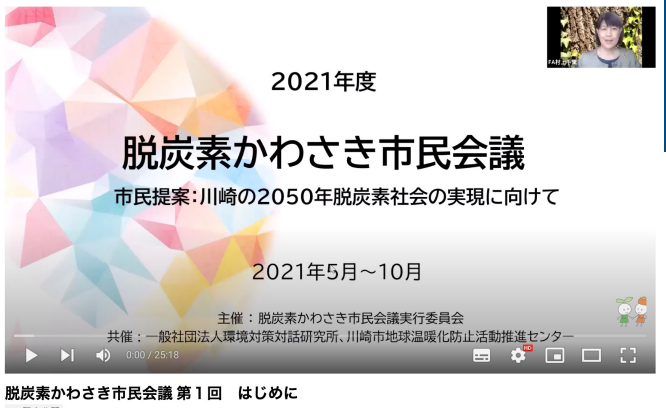
**自分ごと化**

社会の個々の構成員が
社会課題を自分ごと化
＝土壌づくり？

関心を持ってもらうための活動

- 広報
- 説明会
- 勉強会
- パブコメ
- 市民会議等

# 事例①脱炭素かわさき市民会議

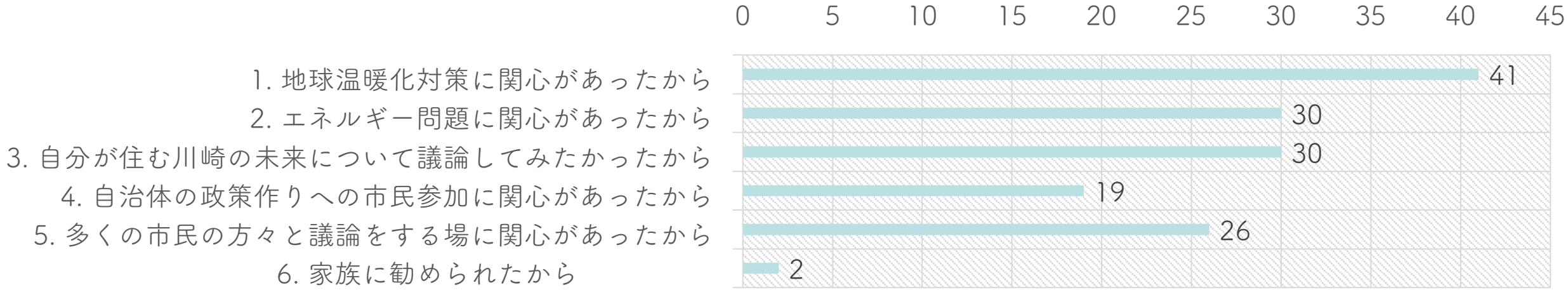


オンライン開催の様子

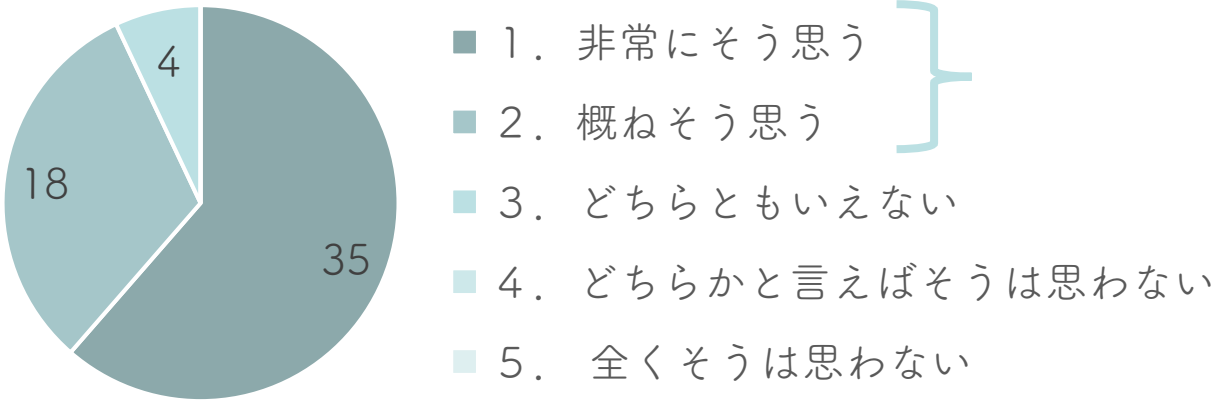
- カテゴリー：気候市民会議
- 主催者：一般社団法人環境政策対話研究所
- 場所：神奈川県川崎市
- 期間：2019年5月～10月（月1回、全6回、土曜日13時～17時開催）
- 参加者：無作為抽出した市民3,201名のうち63名が参加
- 目的：川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定段階において、一般市民の意見（民意）を川崎市に自発的に届けることを主目的とし、併せて社会への発信を行うこと
- 成果：
  - 提言を市役所に提出
  - 「脱炭素かわさき市民会議の記録ー無作為抽出の市民による徹底討議と政策提案づくりー」を作成
  - プラットフォームを設立

# 参加者アンケート

## あなたはなぜ市民会議に参加しようと思ったのですか（複数選択可）（n=57）




## 市民会議に参加して良かったと考えますか（n=57）




参加してよかったと考える方の意見：
川崎市の未来に貢献したいと思う人や様々な世代の方、価値観の違う方とたくさん出会え、**意見交換できたことがよかった**（19名）
脱炭素や川崎の課題についての**知識が増え**、**環境問題に対する意識が高まり**考えることができた（16名）

# 事例②洋上風力を活用した地域活性化を目指す大学生ワークショップ

- カテゴリー：学生ワークショップ
- 主催者：洋上風力の社会受容性に関する研究者有志
- 場所：秋田県能代市、由利本荘市
- 期間：2022年9月5日(月)～9日(金)
- 参加者：全国から集まった37名の大学生

現地視察の様子

- 概要：学生が地域貢献策のアイデアについて議論することによって、①洋上風力発電人材となる学生の発掘・育成を行うこと、②洋上風力発電事業を活用した地域活性化の方向性について議論するきっかけづくりをすることを目的とした。
- 成果：
  - 10月9日~10日に開催された世界洋上風力サミットで発表
  - 漁協が提案を参考に漁業振興策の検討を開始

# 世界洋上風力サミットでの発表

GLOBAL OFFSHORE WIND SUMMIT-JAPAN 2022

## 洋上風力未来創造プラン　～大学生の本イベントの参画について～

### ワークショップの成果発表

■内容

9月に実施されました洋上風力ワークショップ成果の講評後のブラッシュアップした内容を発表（ミニセッションおよびポスターセッション）。

■日時

11月 9日 (水) 9:00～19:00の間
11月10日(木) 9:00～18:00の間

※ミニセッションの時間やポスターセッションの立会いの時間を予めお決めいただきます。

■場所

秋田市文化創造館2階 スタジオA2
〃　1階　交流スペース

### 風力発電関連企業との交流

■内容

国内外の風力発電関連企業の社員の方々と交流ができます。仕事内容や働き方など、風力業界で働く社員のリアルな声を聞くことができるチャンスです。

■日時

11月 9日 (水) 9:00～19:00
11月10日(木) 9:00～18:00

※上記の時間帯のうち交流会の時間帯を設定し、企業の若手社員が交替で対応します。展示ブースへ直接訪問し相談も可能です。

■場所

市文化創造館 1階　交流スペース

### 女性活躍の取組紹介

■内容

風力産業における多様性推進のため、業界で働く女性たちが「Women in Wind」という活動を行っています。女性活躍の取組の紹介や女子学生との交流も可能です。

■日時・場所

【ポスター展示】
秋田市文化創造館 1階交流スペース
11月 9日 (水) 9:00～19:00
11月10日(木) 9:00～18:00

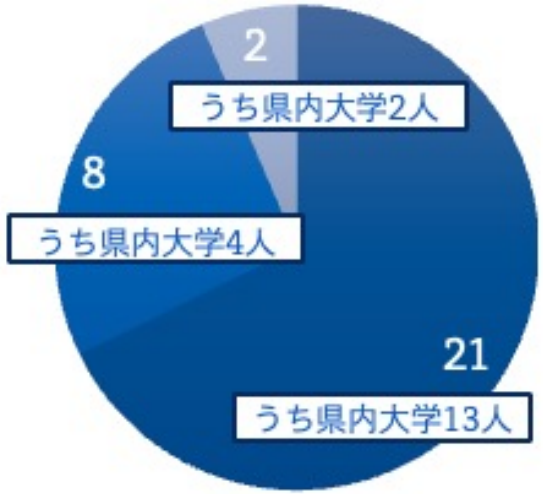
【ミニセッション/座談会】
秋田市文化創造館 2階　スタジオA2

1

# 参加者アンケート

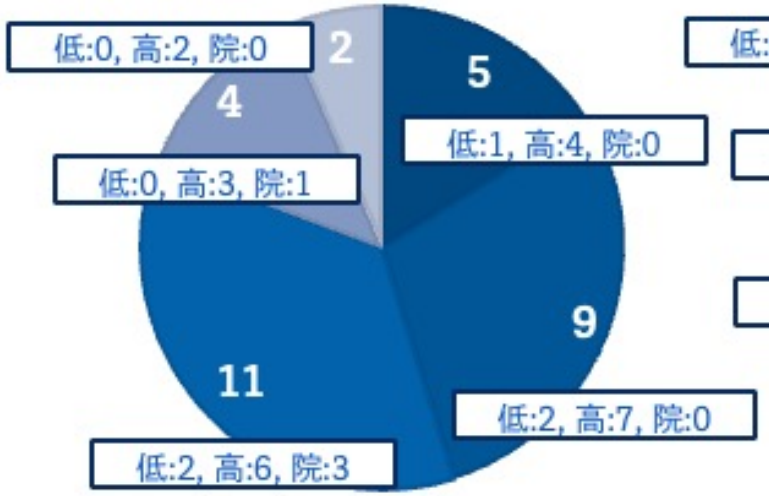
実施期間
9月9日～19日
回答率：84%
（31／37人）

今回のワークショップを通して、洋上風力発電事業に関して興味が湧きましたか。



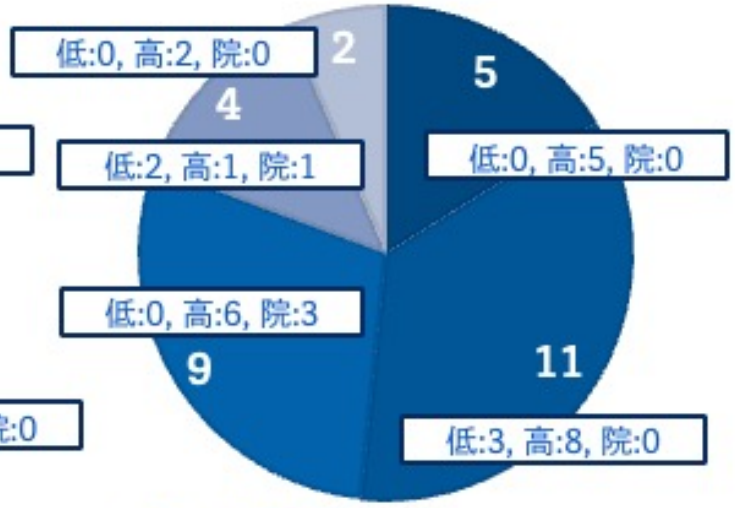

■1：とてもそう思う
■2：どちらかと言えばそう思う
■3：どちらでもない

洋上風力関連産業に就職したいと思いますか？
（低：大学1-2年、高：大学3－4年、院：大学院生）




■1：とてもそう思う
■2：どちらかと言えばそう思う
■3：どちらでもない
■4：どちらかと言えばそう思わない
■5：全くそう思わない

秋田県内の企業も就職先の選択肢に入ると思いますか？
（低：大学1-2年、高：大学3－4年、院：大学院生）




■1：とてもそう思う
■2：どちらかと言えばそう思う
■3：どちらでもない
■4：どちらかと言えばそう思わない
■5：全くそう思わない

満足度は高く、約5割の学生が洋上風力産業や県内企業への就職を選択肢に入れると回答していた。

# 事例③円卓会議

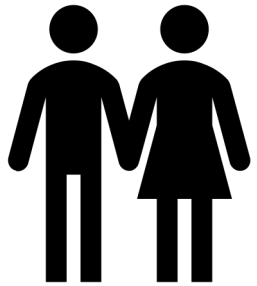
円卓会議の様子

- カテゴリー：自分ごと化会議
- 主催者：一般社団法人構想日本
- 場所：群馬県富岡市
- 期間：2022年度の2ヶ月～5ヶ月間（地区によって異なる）
- 参加者：20名程度、参加者は地区毎に異なる（無作為抽出、地域代表、高校生）
- 概要：市内のすべての地区（11地区）で円卓会議を設立し、地域の課題について話し合った。地区ごとの公民館が中心となっているが、構想日本が参加者を無作為で抽出した2地区、NPO法人が従来型のワークショップ形式で行った２地区が存在する。市職員がファシリテーターとして参加。
- 成果：
  - 各地域で報告書を作成
  - 次年度の取り組みの整理

共同研究として、
どのような手法が効果的なのか調査中

# 社会転換を促す土壌づくり

- 地域の課題や現状に関する事前の情報提供
- 安心して発言できる環境の整備（ファシリテーターの配備）
- 会議終了後も主催者が継続するためのプラットフォームを準備

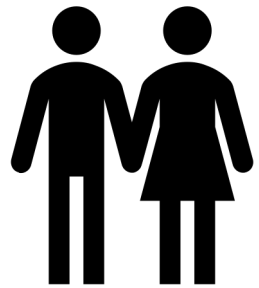


参加者

## Heart of Tajimi -たじみ市民討議会

無作為抽出、有償、専門家による情報提供、参加者が討議・意見集約、討議結果のまとめ・公表

2019年度の様子（多治見市HPより）



実行委員会

社会転換を促す土壌